



平成31年度予算要望について

平成30年8月24日、自由民主党農林・食料戦略調査会・農林部会、農政推進協議会合同会議が開催され、農林水産省より平成31年度農林水産関係予算概算要求、税制改正要望等について聴取し、議論するとともに、農政推進協議会加盟団体からの予算概算要求等に対する要望聴取が行われ、本協会より下記の要望書を提出しました。

(要望書)

平成30年8月24日

自由民主党農林食料戦略調査会・
農林部会・
農政推進協議会合同会議座長 殿

平成31年度予算についての要請

一般社団法人 日本養鶏協会
会長 齋藤 利明

我が国養鶏産業の振興につきましては、日頃より格別のご支援、ご指導を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、我が国鶏卵産業は、近年、卵価が比較的安定的に推移しておりましたが、昨年末より卵価は下落し、5年ぶりに成鶏更新・空舎延長事業が発動する事態となっております。一方、生産資材の高止まりや環境問題への配慮等コスト高は継続しており、対応に苦慮している現状にあります。

つきましては、平成31年度予算の概算要求に当たりましては、以下の点について特段のご配慮をお願いします。

1. 鶏卵生産者経営安定対策事業については、事業を確実に継続するとともに十分な予算を確保すること
また、事業の法制化に向けた検討を開始すること
2. 畜産クラスター事業等競争力強化に係る事業において、鶏卵産業においても規模の大小等各事情に応じた利用しやすいものとする

平成31年度農林水産予算概算要求について

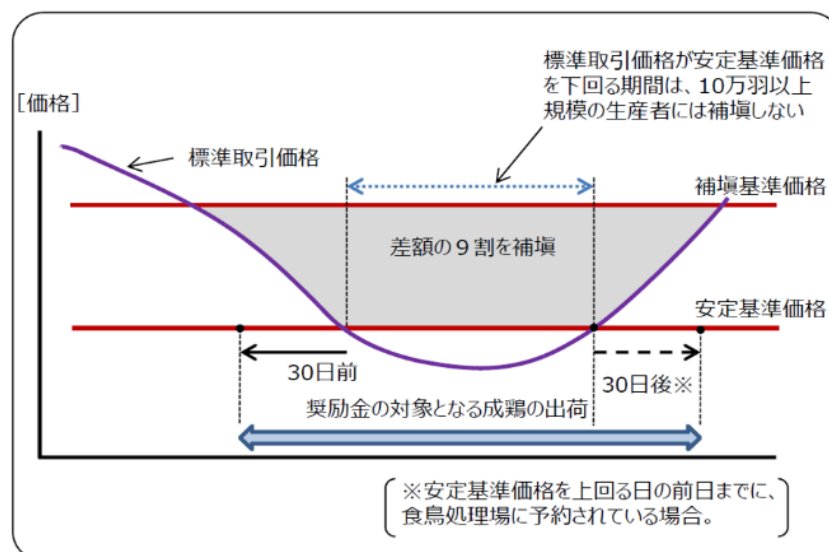
8月31日、農林水産省より、平成31年度農林水産予算概算要求の概要が公表されました。当協会関係事業の概要については以下の通りです。

なお、平成31年度農林水産予算概算要求については、今後、財務省において査定がなされ、例年12月末に概算決定が行われる予定です

1. 鶏卵生産者経営安定対策事業

鶏卵の取引価格が補填基準価格を下回った場合に差額の9割を補填するとともに、取引価格が通常の季節変動を超えて大幅に低下した場合には、成鶏の更新に当たって長期の空舎期間を設けて需給改善を図る取組に対し奨励金を交付する「鶏卵生産者経営安定対策事業」については、前年度予算額と同額の49億円の要求となっています。

【31年度予算概算要求額：49億円】



2. 農林水産業の輸出関係事業

輸出関係予算では、農林水産業の輸出力強化を支援するため、前年度予算額より23億円増の81億円の要求となっております。このうち、海外における日本産農林水産物・食品の輸出促進活動等を支援する「海外需要創出等支援対策事業」は34億円から52億円への増額要求となっています。

<農林水産省の関連ページ>

<http://www.maff.go.jp/j/budget/180831.html>



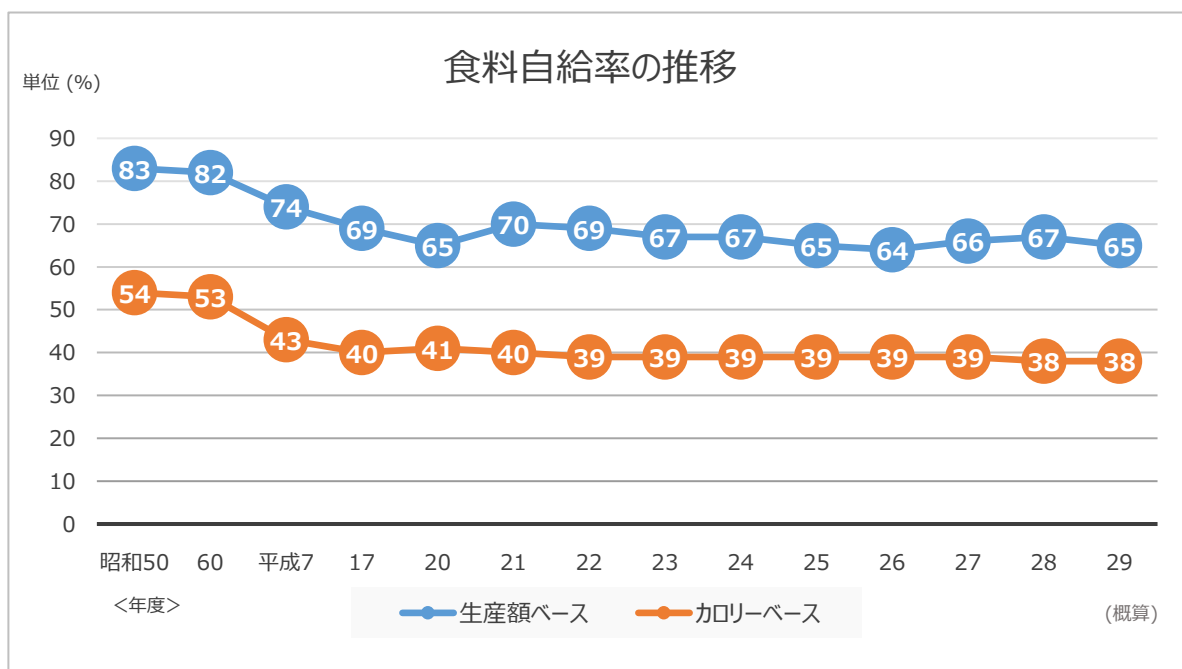
農林水産省より、平成29年度の食料需給表（概算値）が公表されたので、その概要を紹介します。

1. 食料自給率

平成29年度の食料自給率（カロリーベース）は、平成28年に天候不順で減少した小麦、てんさいの生産が回復した一方で、食料消費全体に占める米の割合が減少したことや、畜産物の需要増に対応し、国産品が増加したものの、輸入品がより増加したこと等により、平成28年度と同率の38%となっています。

また、食料自給率を生産額ベースでみると、国産米の価格上昇により米の国内生産額が増加した一方で、円安の影響もあり、畜産物や魚介類の輸入額が増加したこと等により、前年度に比べ2ポイント低下し、65%となっています。

我が国の食料自給率は、自給率の高い米の消費が減少し、飼料や原料を海外に依存している畜産物や油脂類の消費量が増えてきたことから、長期的に低下傾向で推移してきましたが、カロリーベースでは近年横ばいで推移しています。

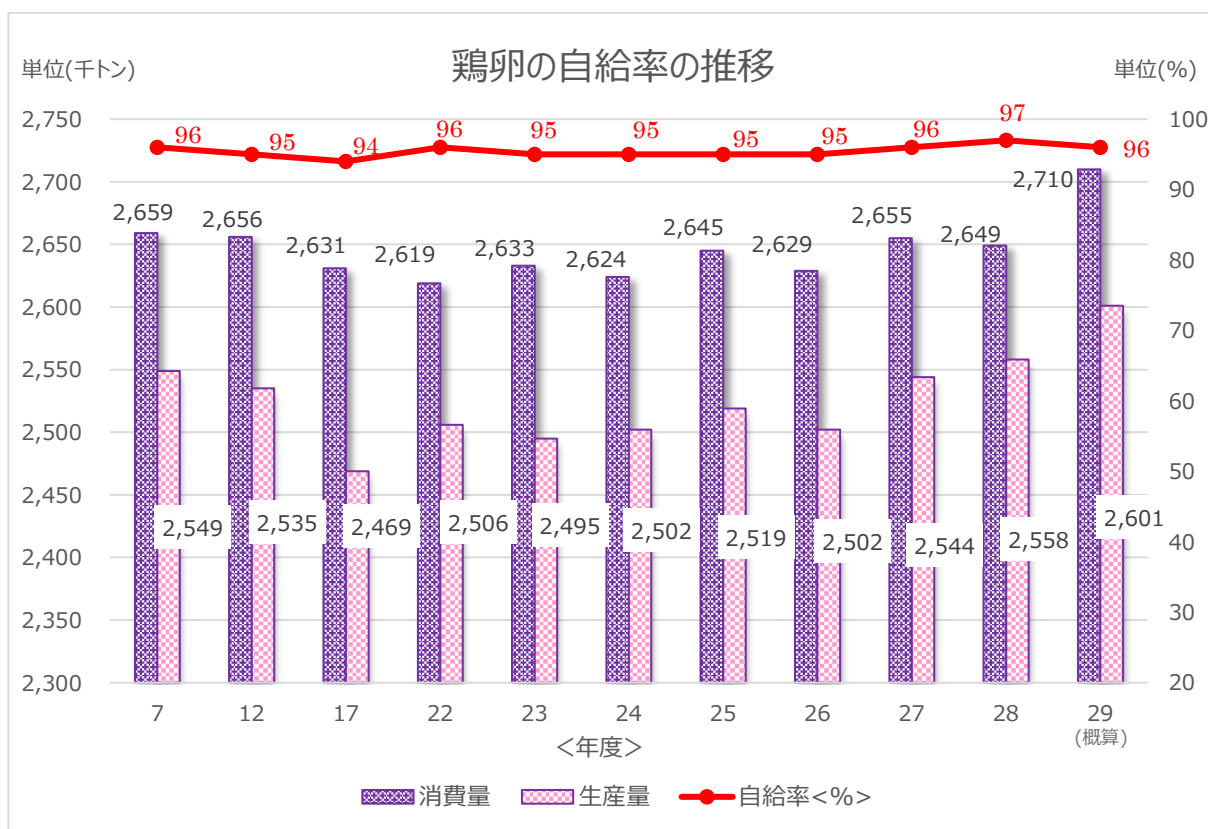


出典：農林水産省「食料需給表」

2. 鶏卵の生産量及び供給量

鶏卵の国内生産量は、前年度に比べ 1.7%増の 2,601 千トン、消費仕向量は輸入量及び国内生産量の増加により 2.3%増の 2,710 千トンとなっています。

また、鶏卵の自給率は、前年度より 1ポイント低下の 96%となりましたが、長年にわたり高い自給率を維持しながら推移しています。

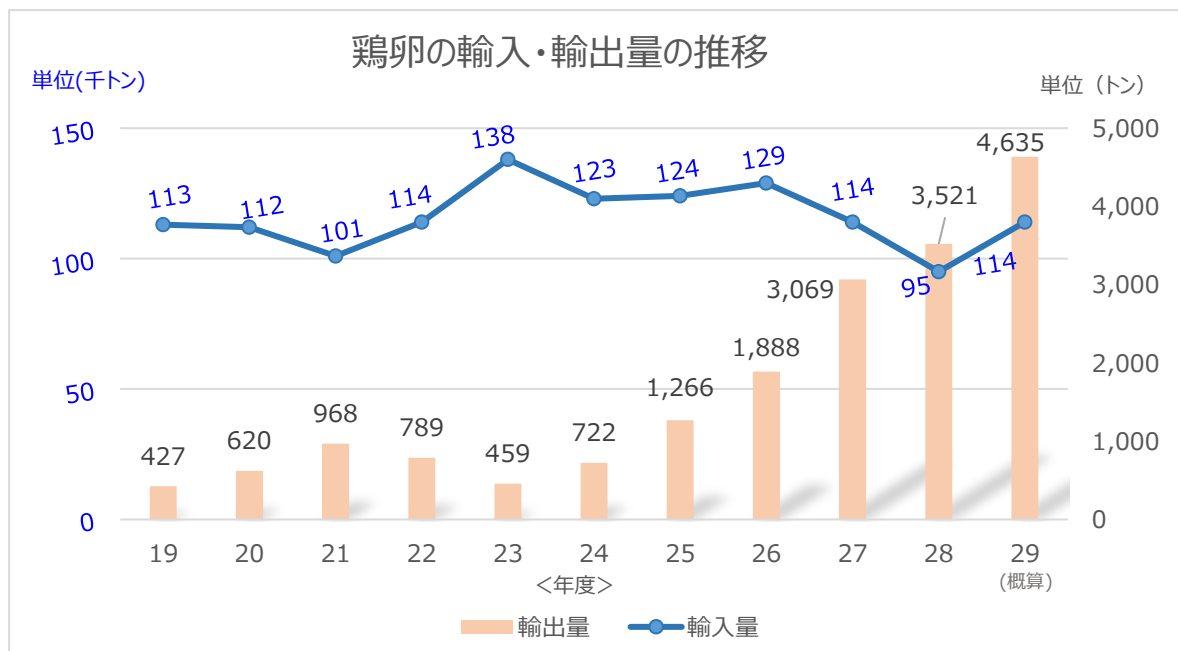


出典：農林水産省「食料需給表」

3. 鶏卵の輸入量及び輸出量

鶏卵の輸入量は、卵白粉の国際価格が落ち着いたこと等から、対前年度比 20%増の 114 千トンで、3年振りに増加に転じています。輸入量全体の 75%を占める卵白粉の主要な輸入先国は、オランダ、イタリア、米国、インドとなっています。

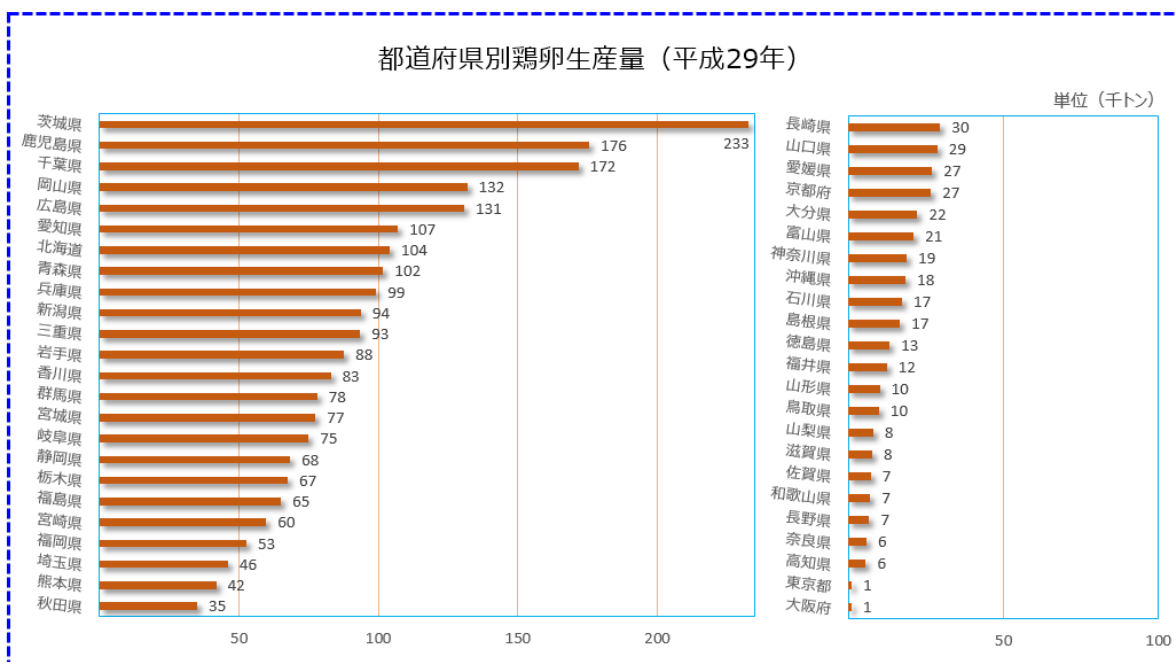
一方、鶏卵の輸出量は、平成 23 年の東日本大震災などの影響を受けて減少したものの、その後は香港を中心に増加傾向で推移しており、平成 29 年度の輸出量は、対前年度比 42.6%増の 4,635 トンと大幅に上回っています。



出典：農林水産省「食料需給表」、財務省「貿易統計」

4. 鶏卵の都道府県別生産量

平成29年の鶏卵生産量を都道府県別にみると、茨城県が233千トン(構成比8.9%)と最も多く、2位鹿児島県176千トン(前年3位)、3位千葉県172千トン(前年2位)、4位岡山県132千トン(前年5位)、5位広島県131千トン(前年4位)、の順になっており、上位5県の順位に変動はあったものの、生産量の約1/3を占めています。また、上位10道県の実生産量は52%と半数を超えています。



出典：農林水産省「鶏卵流通統計調査」



「飼料用米活用畜産物ブランド日本ーコンテスト」 開催のお知らせ

(一社)日本養豚協会では、当協会の協力のもと今年度も標記のコンテストが開催されますので、ご紹介いたします。

要点を以下にお知らせいたしますので、ご興味がある方はHP・パンフレット等をご覧ください、ご検討いただければと存じます。

1. 目的

飼料用米を生産する農家と連携しながら従来の畜産物より付加価値を向上させて飼料用米活用畜産物を販売している畜産事業者を表彰し、その取組・成果を広く普及する。

2. 応募資格

- (1) 飼料用米を活用した畜産物をブランド化し販売している畜産事業者
- (2) 飼料用米の給餌割合が一定以上であること など

3. 応募及び必要書類の提出

応募を希望する事業者は、11月15日までに参加申込書を飼料用米活用畜産物ブランド日本ーコンテスト事務局（一社 日本養豚協会）へ提出する。

4. 表彰式

平成31年3月開催を予定

5. 紹介HP (申請書様式も掲載されております)

<http://okome-sodachi.jp/contest2018.html>

第2回 飼料用米活用畜産物ブランド 日本一コンテストを開催!!



募集中!

**平成30年8月1日
~11月15日**

飼料用米を活用した畜産物のブランド化による販売力向上等の取組を実践している畜産事業者を表彰し、広く紹介するため「**飼料用米活用畜産物ブランド日本一コンテスト**」を開催します。

応募について

- 飼料用米を活用した畜産物をブランド化し販売している畜産事業者
 - 飼料用米の給餌割合が一定以上であること等
- (詳しくはホームページ掲載の応募用紙を参照して下さい)

開催スケジュール

- 応募期間 平成30年8月1日~11月15日
- 審査委員会 平成31年2月中旬予定
- 表彰式 平成31年3月15日 (東京都内)

褒賞

- 農林水産大臣賞
- 政策統括官賞
- 全国農業協同組合中央会会長賞
- 公益社団法人中央畜産会会長賞



昨年の表彰式

応募先及びお問い合わせ先

主催：**一般社団法人日本養豚協会** (担当：山梨・小磯)
住所：〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-27-15 高栄ビル2階
連絡先：TEL 03 (3370) 5473 FAX 03 (3370) 7937
メール：yamanashi@pig-pins.com (問い合わせ先等)
後援：農林水産省・全国農業協同組合中央会・公益社団法人中央畜産会
HP：飼料用米活用畜産物ブランド日本一コンテスト
<http://okome-sodachi.jp/index.html>



農林水産省補助事業 平成30年度米活用畜産物等全国展開事業



協会活動報告

[青字下線部クリックで、\(一社\)日本養鶏協会ホームページ内
該当事業のページが開きます](#)

(1) 鶏卵生産者経営安定対策事業

① 価格差補填事業の事業参加者との契約数量 (トン/月当たり)

平成27年度	161,936
平成28年度	164,846
平成29年度	162,353
平成30年度	169,171

② 8月の標準取引価格 184.33 円/Kg

(補てん価格 0.603 円)

平成30年度補填基準価格 185 円/Kg

平成30年度安定基準価格 163 円/Kg

(2) 国産鶏卵に関する普及啓発事業



Facebookに『**卵母(たまも)ちゃん部屋**』があるのをご存知ですか？

これは、「卵に関するあらゆる情報を発信していこう！」をスローガンに普及啓発事業の一環として本年2月8日に開設されました。

卵母ちゃん部屋では、情報発信の場として皆さんに気軽に楽しんでいただけるよう、卵に関するレシピやグルメ、裏ワザや便利グッズなどが紹介されています。

皆さんも卵に関する情報を発信してみませんか？

スマートフォンをお持ちの方は下のQRコードより卵母ちゃん部屋へ行くことができますので、是非遊びに来てください！





日鶏協ニュース

平成30年9月号
一般社団法人 日本養鶏協会

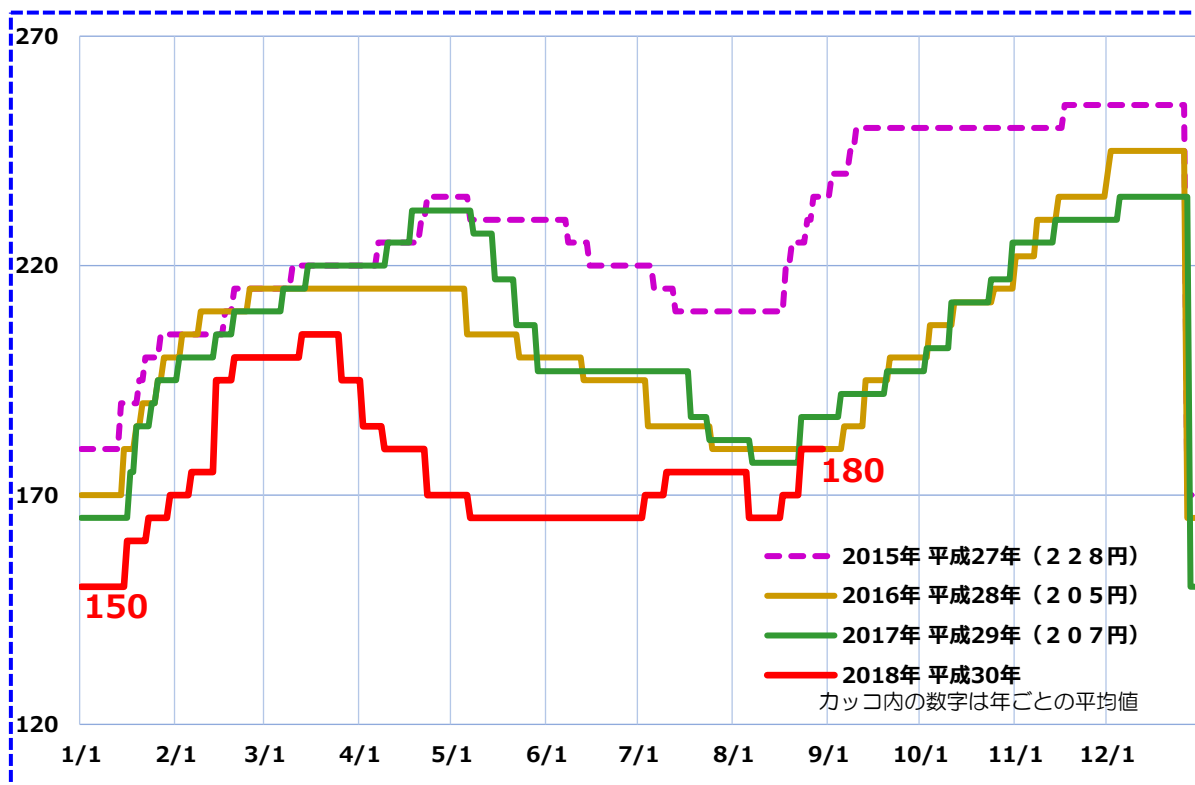
統計データ

【相場動向】 過去10年間の8月相場<Mサイズ>

	平均値	高値	安値
平成21年	157	193	144
平成22年	166	198	154
平成23年	167	193	159
平成24年	157	181	149
平成25年	175	213	162
平成26年	192	228	179
平成27年	219	253	204
平成28年	180	198	174
平成29年	182	205	171
平成30年	172	198	159
平均値	177	206	166

平成30年8月の鶏卵相場（東京全農Mサイズ）は、平均値172円、高値198円、安値159円といずれも過去10年間の平均値を下回り、平成25年以降で最も低い相場となっています。

【鶏卵相場推移 2015年～2018年 事業年度 東京全農Mサイズ 円/Kg】



8月の鶏卵相場は、7月中旬より横這いで推移していましたが、6日に10円値を下げ165円となり、その後段階的に上昇し、月末には平成28年に並ぶ180円まで値を上げています。



【鶏卵関係主要計数】平成30年6月までの1年間の主要計数推移

	雛餌付羽数(出荷)		配合飼料出荷量		家計消費量		鶏卵相場	
			成鶏用		一人当たり		東京全農M	
	数量(千羽)	前年比	数量(千ト)	前年比	数量(グラム)	前年比	前年	本年
29年 7月	9,889	104.2%	455	103.2%	866	100.2%	184	191
8月	8,339	98.4%	466	102.3%	849	104.6%	180	182
9月	9,014	98.1%	566	103.9%	858	101.3%	192	194
10月	9,225	100.9%	487	104.2%	910	100.2%	211	211
11月	9,519	107.7%	494	102.9%	899	102.8%	231	228
12月	9,081	98.6%	536	102.1%	936	103.0%	245	234
30年 1月	9,387	101.2%	477	103.9%	889	104.6%	179	159
2月	9,034	109.1%	461	102.7%	862	102.2%	204	189
3月	9,940	102.0%	522	101.7%	896	102.3%	217	201
4月	9,503	104.3%	477	101.8%	885	97.6%	227	179
5月	10,035	111.1%	503	101.2%	965	108.4%	216	165
6月	9,267	95.0%	482	101.6%	908	107.7%	197	165
1年間合計 平均(%)	112,233	102.6%	5,926	102.6%	10,723	102.9%	207 (平均)	192 (平均)

注:雛餌付羽数は全国推定値

- ・雛餌付羽数は、9,267千羽(前年同月比95%)となり6か月ぶりに前年同月比を下回りましたが、年間では2.6%上回って推移しています。
- ・配合飼料出荷量は、48万トンと前年同月比を1.6%上回り、年間でも前年を2.6%上回って推移しています。
- ・鶏卵の家計消費量は、908グラム(前年同月比107.7%)と、2ヶ月連続で前年同月比を大きく上回り、年間でも2.9%上回って推移しています。
- ・これらの統計では、餌付羽数や配合飼料出荷量は前年を上回って推移し、家計消費などの需要サイドでも堅調な展開となっていますが、今後猛暑や、成鶏更新・空舎延長事業の影響等を注視する必要があります。

【日鶏協ニュース】 発行者：一般社団法人 日本養鶏協会

〒104-0033 東京都中央区新川二丁目6番16号 馬事畜産会館内(5階)

TEL: (03) 3297-5515 FAX: (03) 3297-5519 発行日 2018年9月3日

編集・発行責任者: 小田上浩史(info@jpa.or.jp)

